

つなげよう 支援の輪(オレンジリング) つなげよう 認知症ジュニアサポーターになるろう

【問い合わせ】 地域包括支援センター(中部にんにんサポート伊賀)

☎ 26・1521 FAX 24・7511

知っていますか？ 認知症ジュニアサポーター

まず、皆さんは、認知症サポーターをご存じですか。

認知症サポーターとは、何か特別なことをする人ではなく、認知症について正しく理解し、偏見を持たず、認知症の人やその家族を温かい目で見守る「応援者」です。

そして、小中学生の認知症サポーターのことを認知症ジュニアサポーターと呼びます。



▲オレンジリング。認知症サポーター養成講座を受講した人には、サポーター(応援者)の証としてオレンジリングを渡しています。

子どもの頃から知っていてほしい 「認知症」という病気のこと

「認知症」は、誰にでも起こりうる脳の病気です。正しい知識をもち、ほんの少しの気遣いができる人(サポーター)が増えれば、認知症になっても安心して暮らしていくことができます。

伊賀市では、認知症対策の柱として認知症サポーター養成講座を実施しており、平成27年度からは学校の協力の下、小中学生を対象に「認知症ジュニアサポーター養成講座」を実施しています。

子どもの頃から認知症という病気や認知症になった人の気持ちを正しく理解し、支援の大切さを学ぶことで、「ひととはみな、病気や障がいがあっても大切にされる存在である」という「こころ」を育むことができます。また、子どもたちが学んだことを家族や地域へ伝えていくことで、「誰もが安心して暮らせるまちづくり」へと、つなげていくことをめざしています。

認知症ジュニアサポーター 養成講座

講座は、第3土曜日や平日の授業時間(2時限分)を使って実施しています。

講座では、認知症の基本的な知識について、スライドなどの視覚教材を用いて説明します。この中で、認知症が脳の病気であることや、誰にでもなる可能性があり、環境や周りの人の接し方で症状が変わることなどを話しています。

また、子どもたちに認知症の人についての理解を深めてもらうために「絵本の朗読」や「寸劇」も取り入れています。

子どもたちには、講義や寸劇を通して認知症の人への対応について学んでもらうとともに、話し合いを通して自分たちができることは何かを考えてもらっています。

絵本の朗読



寸劇



講座で使うテキスト



子どもたちは講座を通じて
さまざまなことを学んでいます

※受講した子どもたちの感想より抜粋

「認知症は全部忘れるわけじゃない、優しくすると病気がゆっくり進んだりするんだなと思いました。認知症が一番しんどくなるのはお母さんや子どもではなく、認知症になっっている人なんだと知りました。やさしくするとおばあちゃんやおじいちゃんが幸せになるけど、怒ると悲しくなることがわかりました。」(小学校3年生)

「まわりにいる人の接し方などで、症状が変わったりすることを知ったので、いろいろな話し相手になろうと思います。」(小学校6年生)



「認知症の人がいたら、自分たちでできることをやりたいなと思いました。認知症の人はすごくつらいんだとわかりました。認知症のことを、お母さんやお父さんに教えてあげます。いろいろな人に教えてあげたいです。」(小学校3年生)

「絵本の『大好きだよ、キョちゃん』で認知症の人にもちゃんと自覚があって、そのことに不安を持ちながら自分と向き合おうとがんばっているんだなあと思いました。私もお年寄りの人に優しくしたいことと申しました。」(中学校1年生)

※公共広告により啓発活動を行う公益ACジャパンの認知症サポーター・コーマージャーナルに、久米小学校での講座が起用され、現在放送中です。

支援の輪を市内全域へ

平成28年9月末現在、伊賀市では4,325人の認知症サポーターがいます。その中でジュニアサポーターは約250人です。

市では、市内の全ての小学校・中学校でこの認知症ジュニアサポーター養成講座を実施し、支援の輪を市全体に広げていくことをめざしています。学校現場や保護者の皆さんのご理解・ご協力をお願いします。



▶認知症サポーターのイメージキャラクタ―

◆認知症サポーター養成講座・ジュニアサポーター養成講座を開催しませんか

認知症になってもできるかぎり住み慣れた地域で暮らし続けられるように、「誰もが安心して暮らし続けられるまちづくり」が求められています。

市では今後も、認知症の人やその家族への理解を深めた応援者を増やしていくため、認知症サポーター養成講座・ジュニアサポーター養成講座を実施していきます。

認知症サポーター養成講座は10人以上の団体であれば、講師を派遣します。詳しくは地域包括支援センターにお問い合わせください。

認知症キャラバン・メイト 養成研修

認知症サポーターを養成する講師役「キャラバン・メイト」の養成研修を開催します。

【と き】 1月28日(土) 午前9時30分～午後4時30分(受付：午前9時)

【と ころ】 三重県伊賀庁舎 3階 中会議室(四十九町2802番地)

【対象者】 市内在住・在勤の人で、次のいずれかの要件を満たし、「認知症サポーター養成講座」に年間3回以上、ボランティアで参加できる人

○ 認知症介護指導者養成研修修了者

○ 認知症介護実践リーダー研修(認知症介護実務者研修専門課程)修了者

○ 介護相談員

○ 認知症の人を対象とする家族の会の会員

○ 行政職員(保健師・一般職など)

○ 介護従事者(介護支援専門員・施設職員など)

○ 医療従事者(医師、看護師など)

○ 民生委員・児童委員

○ ボランティア など

【定員】 40人程度

【申込方法】 介護高齢福祉課か市ホームページにある申込書を記載の上、提出してください。